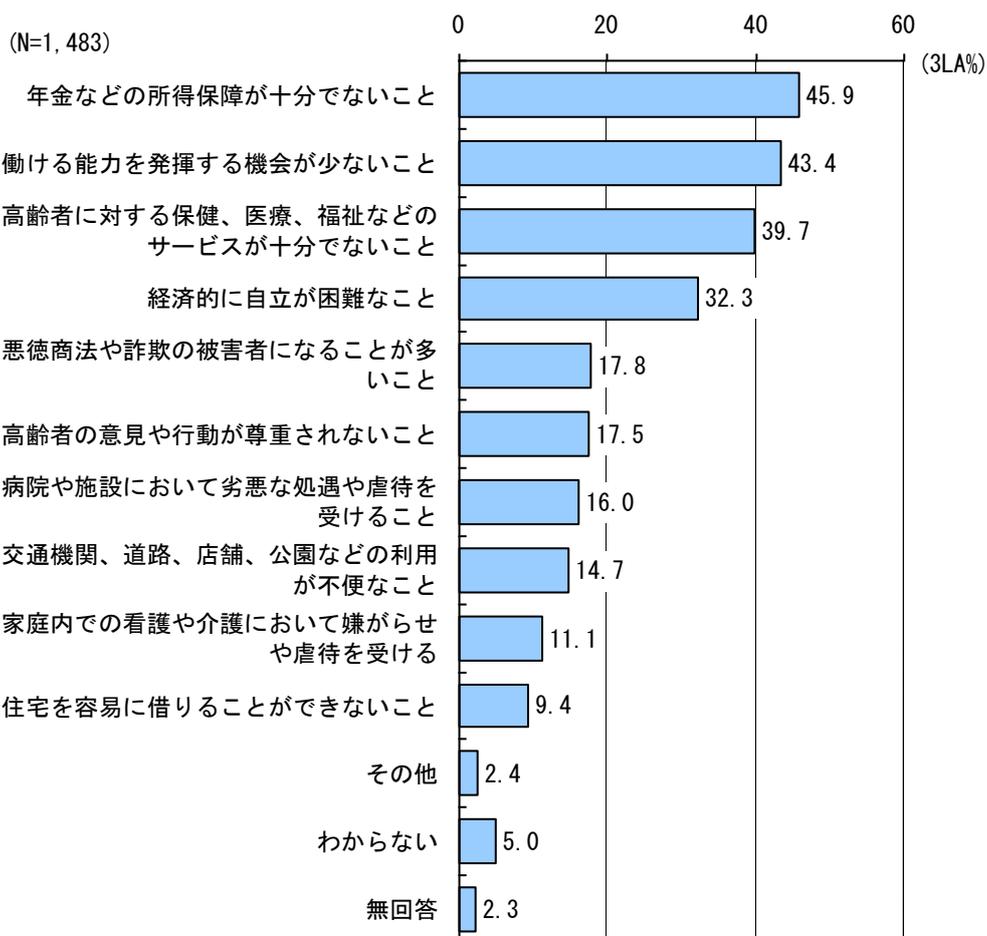


6 高齢者の人権について

(1) 高齢者の人権が尊重されていないと思うこと

問 25 高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(あてはまる番号3つまでに○)

【図 6-1 高齢者の人権が尊重されていないと思うこと】



高齢者の人権が尊重されていないと思うことについて、「年金などの所得保障が十分でないこと」(45.9%)が最も高く、次いで「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(43.4%)、「高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でないこと」(39.7%)、「経済的に自立が困難なこと」(32.3%)と続いている。(図 6-1)

【表 6-1-1 年代別 高齢者の人権が尊重されていないと思うこと】

(上段：回答者数/下段：回答比率) (3LA%)

| | 調査数 | 年金などの所得保障が十分でないこと | 働ける能力を発揮する機会が少ないこと | 高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でないこと | 経済的に自立が困難なこと | 悪徳商法や詐欺の被害者になることが多いこと | 高齢者の意見や行動が尊重されないこと | 病院や施設において劣悪な処遇や虐待を受けること | 交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと | 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待を受けること | 住宅を容易に借りることができないこと | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|--------------|-------------------|--------------------|--------------------------------|--------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------|----------|-----------|-----------|
| 20歳未満 | 50 100.0 | 20 40.0 | 20 40.0 | 12 24.0 | 9 18.0 | 15 30.0 | 12 24.0 | 13 26.0 | 7 14.0 | 10 20.0 | 6 12.0 | 1 2.0 | 4 8.0 | - - |
| 20歳代 | 130 100.0 | 57 43.8 | 47 36.2 | 41 31.5 | 38 29.2 | 28 21.5 | 18 13.8 | 23 17.7 | 17 13.1 | 22 16.9 | 15 11.5 | - | 12 9.2 | 1 0.8 |
| 30歳代 | 242 100.0 | 101 41.7 | 101 41.7 | 81 33.5 | 78 32.2 | 56 23.1 | 34 14.0 | 48 19.8 | 40 16.5 | 38 15.7 | 23 9.5 | 7 2.9 | 9 3.7 | 1 0.4 |
| 40歳代 | 229 100.0 | 107 46.7 | 101 44.1 | 95 41.5 | 80 34.9 | 42 18.3 | 29 12.7 | 38 16.6 | 30 13.1 | 23 10.0 | 23 10.0 | 8 3.5 | 11 4.8 | - |
| 50歳代 | 228 100.0 | 107 46.9 | 109 47.8 | 95 41.7 | 77 33.8 | 39 17.1 | 33 14.5 | 47 20.6 | 31 13.6 | 25 11.0 | 27 11.8 | 7 3.1 | 9 3.9 | 6 2.6 |
| 60歳代 | 336 100.0 | 172 51.2 | 162 48.2 | 164 48.8 | 107 31.8 | 43 12.8 | 63 18.8 | 50 14.9 | 50 14.9 | 33 9.8 | 33 9.8 | 5 1.5 | 13 3.9 | 9 2.7 |
| 70歳以上 | 237 100.0 | 101 42.6 | 92 38.8 | 90 38.0 | 81 34.2 | 38 16.0 | 64 27.0 | 17 7.2 | 40 16.9 | 14 5.9 | 12 5.1 | 7 3.0 | 14 5.9 | 14 5.9 |

高齢者の人権が尊重されていないと思うことを年代別でみると、各年代で「年金などの所得保障が十分でないこと」の割合が高く、60歳代まで年代が上がるにつれて割合が上昇している。

また、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」や「高齢者に対する保健、医療、福祉などのサービスが十分でないこと」でも、60歳代まで年代が上がるにつれて割合が上昇している。

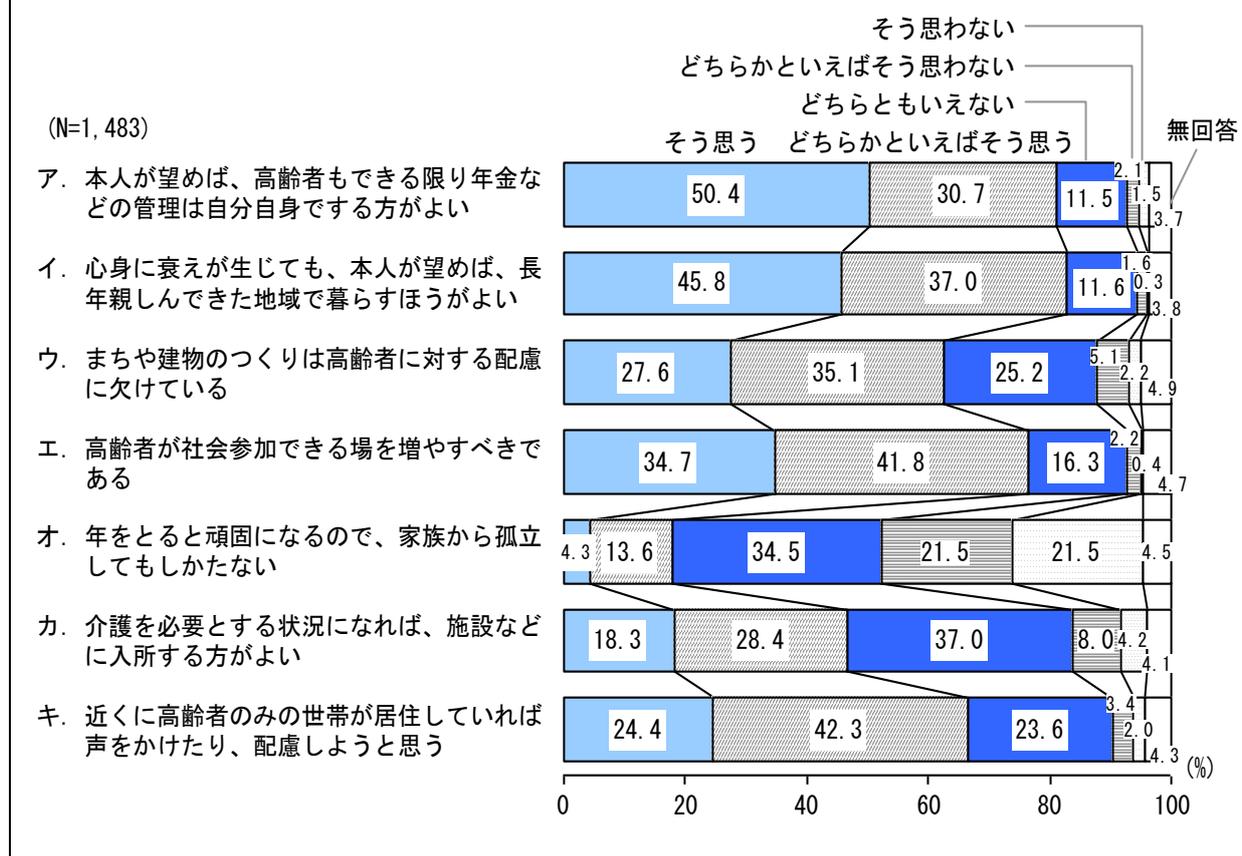
(表 6-1-1)

(2) 高齢者の自立した生活や社会参加などに関する意見に対する考え方

問 26 あなたは、次の意見についてどのように思いますか。

(ア～キのそれぞれについてあてはまる番号1つに○)

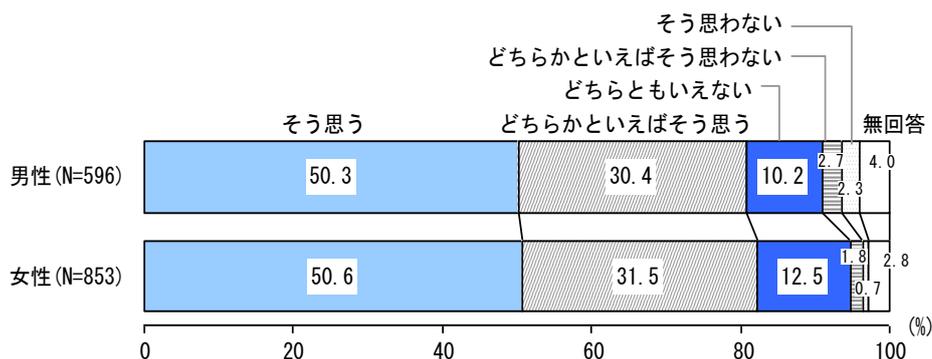
【図 6-2 高齢者の自立した生活や社会参加などに関する意見に対する考え方】



高齢者の自立した生活や社会参加などに関する意見に対する市民の考え方をみると、“肯定派”が“否定派”に比べ割合が高い項目は、「イ. 心身に衰えが生じても、本人が望めば、長年親しんできた地域で暮らすほうがよい」(82.8%)、「ア. 本人が望めば、高齢者もできる限り年金などの管理は自分自身でする方がよい」(81.1%)、「エ. 高齢者が社会参加できる場を増やすべきである」(76.5%)、「キ. 近くに高齢者のみの世帯が居住していれば声をかけたり、配慮しようと思う」(66.7%)、「ウ. まちや建物のつくりは高齢者に対する配慮に欠けている」(62.7%)、「カ. 介護を必要とする状況になれば、施設などに入所する方がよい」(46.7%)となっている。

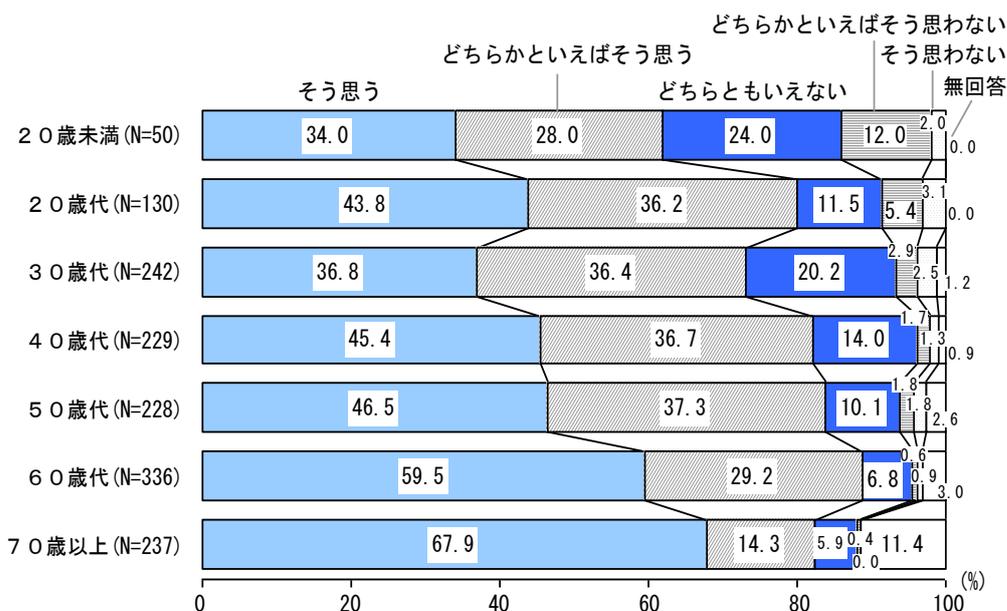
一方、“否定派”が“肯定派”に比べ割合が高い項目は、「オ. 年をとると頑固になるので、家族から孤立してもしかたない」(43.0%)となっている。(図 6-2)

【図 6-2-1 性別 ア. 本人が望めば、高齢者もできる限り年金などの管理は自分自身でする方がよい】



「ア. 本人が望めば、高齢者もできる限り年金などの管理は自分自身でする方がよい」を性別で見ると、男女とも“肯定派”が8割台を占めている。(図 6-2-1)

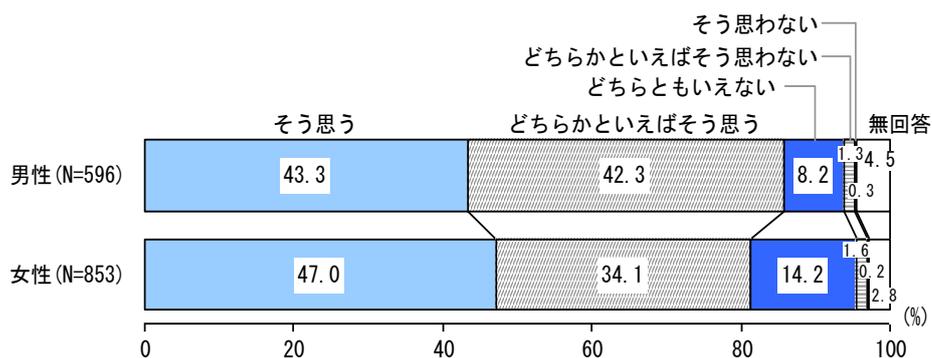
【図 6-2-2 年代別 ア. 本人が望めば、高齢者もできる限り年金などの管理は自分自身でする方がよい】



「ア. 本人が望めば、高齢者もできる限り年金などの管理は自分自身でする方がよい」を年代別で見ると、各年代で“肯定派”が過半数を占めており、20歳代と40歳代以上の年代で8割台となっているが、20歳未満(62.0%)では他の年代と比べ割合が低くなっている。

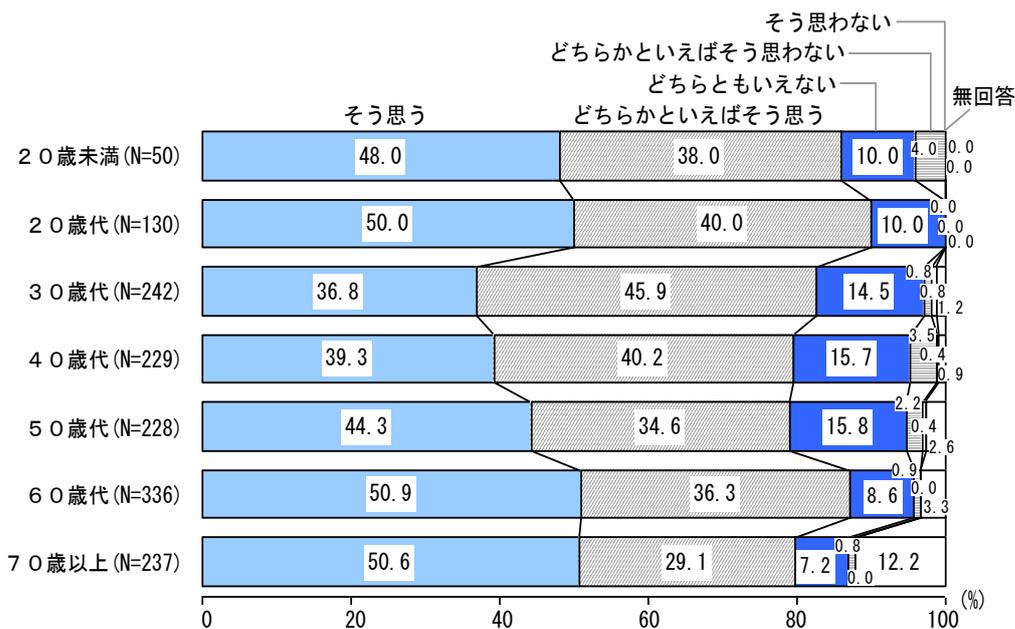
また、“否定派”では、20歳未満(14.0%)が他の年代と比べ割合が高い。(図 6-2-2)

【図 6-2-3 性別 イ. 心身に衰えが生じてても、本人が望めば、長年親しんできた地域で暮らすほうがよい】



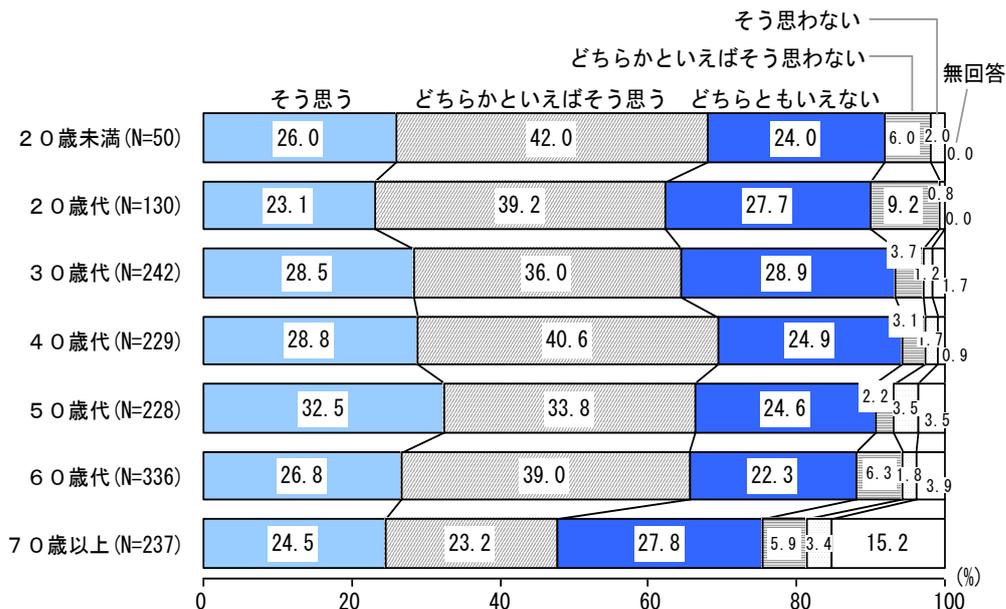
「イ. 心身に衰えが生じてても、本人が望めば、長年親しんできた地域で暮らすほうがよい」を性別で見ると、男女とも“肯定派”が8割を占めており、男性（85.6%）が女性（81.1%）に比べ4.5ポイント高くなっている。（図 6-2-3）

【図 6-2-4 年代別 イ. 心身に衰えが生じてても、本人が望めば、長年親しんできた地域で暮らすほうがよい】



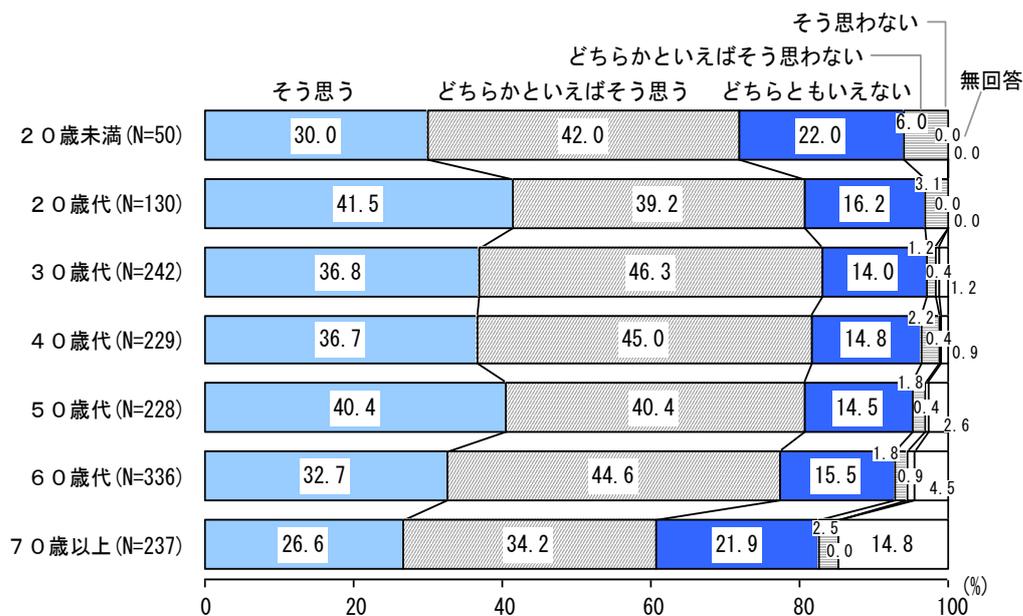
「イ. 心身に衰えが生じてても、本人が望めば、長年親しんできた地域で暮らすほうがよい」を年代別で見ると、各年代で“肯定派”が7割以上を占めており、特に20歳代では90.0%と高くなっている。（図 6-2-4）

【図 6-2-5 年代別 ウ. まちや建物のつくりは高齢者に対する配慮に欠けている】



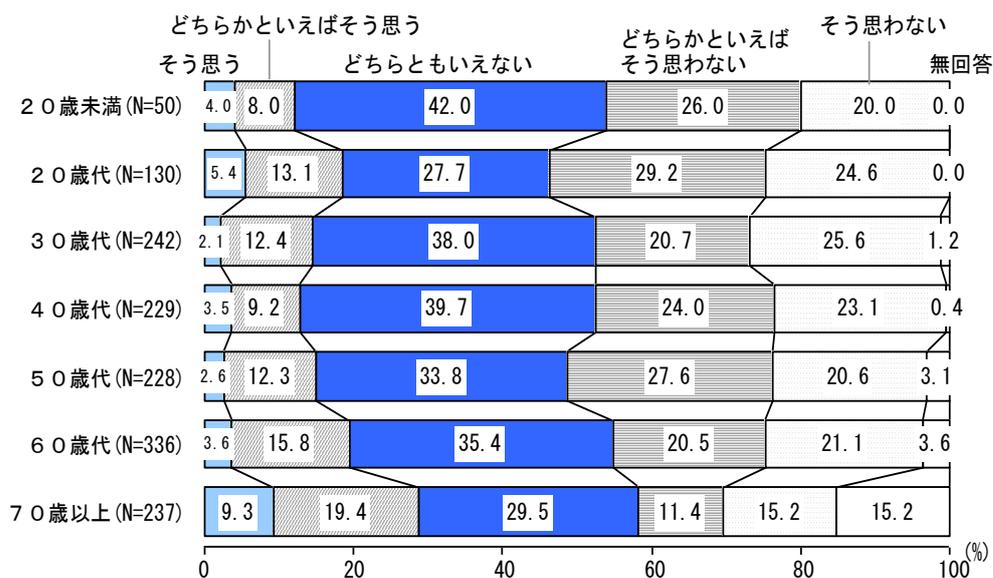
「ウ. まちや建物のつくりは高齢者に対する配慮に欠けている」を年代別で見ると、各年代で“肯定派”が“否定派”と比べ割合が高くなっており、60歳代以下の年代では“肯定派”が6割台を占めているが、70歳以上では4割台と他の年代と比べ割合が低くなっている。高齢になると、障害を持たないまでも足腰が弱くなり、少しの段差の昇降も困難になるといわれる。しかし、40歳代までの人よりそれ以上の人たちの方が「現状で十分設置されている」と思っている人が多いのは、「バリアフリーでなく不便でもそれが普通だ」という価値観を持っている人が多い世代であるからかもしれない。(図 6-2-5)

【図 6-2-6 年代別 エ. 高齢者が社会参加できる場を増やすべきである】



「エ. 高齢者が社会参加できる場を増やすべきである」を年代別で見ると、各年代で“肯定派”が“否定派”に比べ割合が高くなっており、20歳代～50歳代では8割台を占めているが、70歳以上(60.8%)では他の年代と比べ割合が低くなっている。(図 6-2-6)

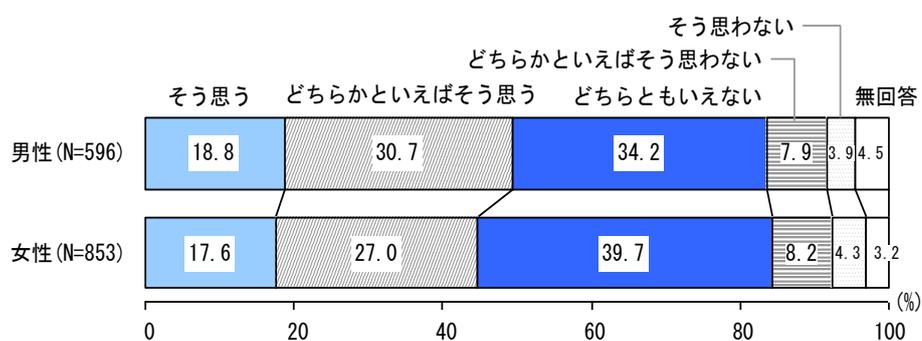
【図 6-2-8 年代別 オ. 年をとると頑固になるので、家族から孤立してもしかたない】



「オ. 年をとると頑固になるので、家族から孤立してもしかたない」を年代別でみると、60歳代以下の年代で“否定派”が“肯定派”に比べ割合が高くなっており、特に20歳代が53.8%と高くなっている。

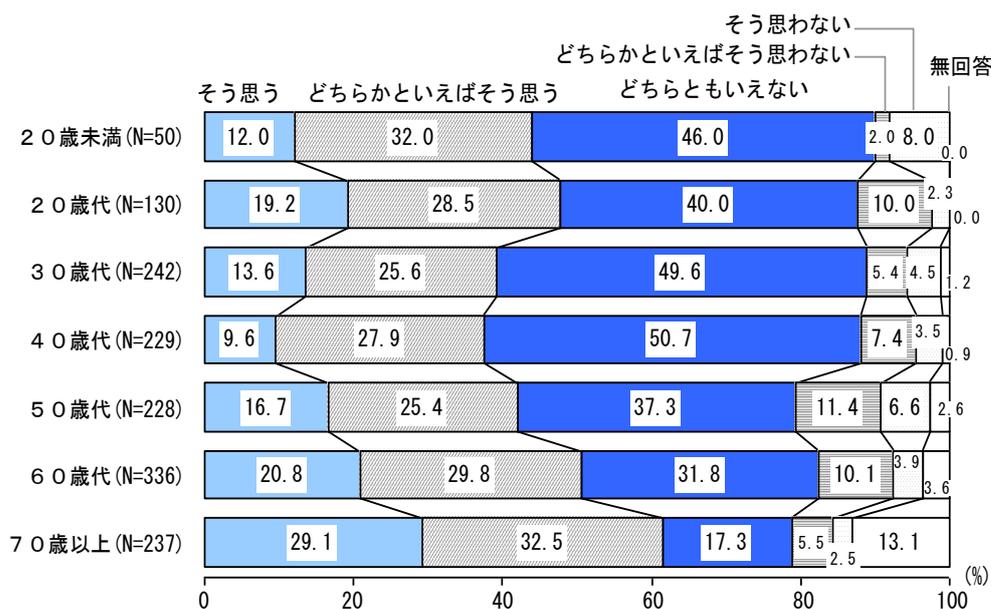
また、70歳以上では“肯定派”が“否定派”に比べ割合が高くなっている。(図 6-2-8)

【図 6-2-9 性別 カ. 介護を必要とする状況になれば、施設などに入所する方がよい】



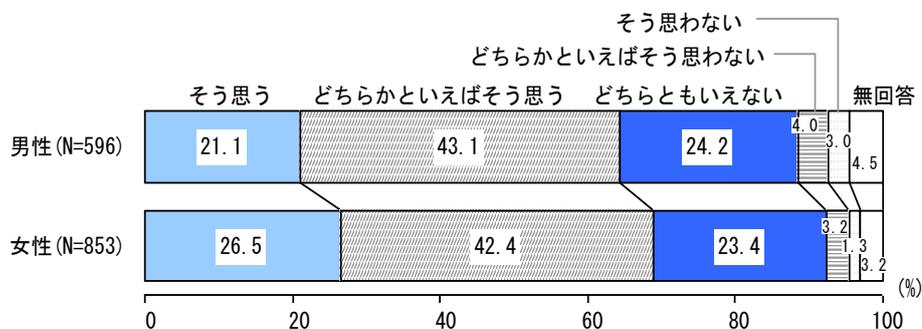
「カ. 介護を必要とする状況になれば、施設などに入所する方がよい」を性別でみると、男女とも“肯定派”が“否定派”に比べ割合が高くなっており、男性(49.5%)が女性(44.6%)に比べ4.9ポイント高くなっている。(図 6-2-9)

【図 6-2-10 年代別 カ. 介護を必要とする状況になれば、施設などに入所する方がよい】



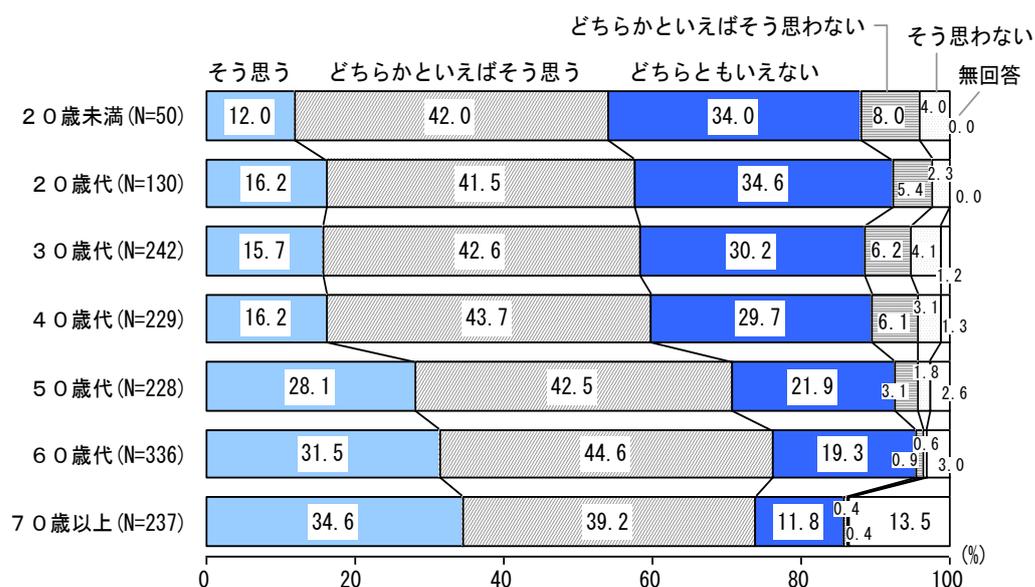
「カ. 介護を必要とする状況になれば、施設などに入所する方がよい」を年代別でみると、各年代で“肯定派”が“否定派”に比べ割合が高くなっており、60歳代以上の年代では過半数を占めている。（図 6-2-10）

【図 6-2-11 性別 キ. 近くに高齢者のみの世帯が居住していれば声をかけたり、配慮しようと思う】



「キ. 近くに高齢者のみの世帯が居住していれば声をかけたり、配慮しようと思う」を性別でみると、男女とも“肯定派”が6割台を占めており、女性（68.9%）が男性（64.2%）に比べ4.7ポイント高くなっている。（図 6-2-11）

【図 6-2-12 年代別 キ. 近くに高齢者のみの世帯が居住していれば声をかけたり、配慮しようと思う】



「キ. 近くに高齢者のみの世帯が居住していれば声をかけたり、配慮しようと思う」を年代別でみると、各年代で“肯定派”が過半数を占めており、年代が上がるにつれて割合が上昇している。(図 6-2-12)